

マリー・クワントと ヴィヴィアン・ウエストウッド

イギリスのファッション界には数多くの才能溢れるデザイナーが存在しますが、その中でも特に著名な2人の女性デザイナーが、マリー・クワントとヴィヴィアン・ウエストウッドです。彼女たちの生き立ちや、そのデザインに影響を与えた時代背景などを、服飾史家の中野香織さんが解説します。

翻訳 (p. 21) : 春日聡子

Profile 中野香織 (なかのかおり) : 東京大学文学部・教養学部教養学科 (イギリス科) 卒業。同大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。英国ケンブリッジ大学客員研究員、明治大学国際日本学部特任教授を歴任。新聞・雑誌・ウェブメディアに連載記事を多数執筆するほか、企業の顧問教授を務める。
公式ホームページ : www.kaori-nakano.com



1967年のマリー・クワントのコレクション。

Mary Quant

1960

年代、「スウィング・ロンドン」は労働者階級の若者を中心とするポップカルチャーの震源地だった。ロック、映画、写真、アート、演劇、そしてファッションの領域に続々とスターが登場し、熱狂のうちに世界を変えていった。

マリー・クワントはストリートからヒントを得たミニスカートを爆発的に流行させ、本人もファッションアイコンとして時代の寵児になった。マリーは「すべてを変えた」と評されるのだが、変えたのは服だけではなく女性の attitude (考え方)、ひいては行動、ついには社会。ヴィダル・サスーン^{※1} 考案によるセット不要のポプカットのおかげで「お泊まり」がラクになり、性革命を促した。

マリー開発によるウォータープルーフのマスカラは、女性たちの奔放で大胆な行動につながった。欲望を肯定し自身を解放する快楽に目覚め、やがて、これまで女性を縛っていた男性中心の社会を打ち壊すことにもつながっていく。「既存のルールを壊すと力が湧いてくる」と語り、悪びれず喜々としてタブーを破り続けた先駆者、マリーは2015年にはデイム^{※2}の称号を得る。実は私の東大の卒論テーマはマリー・クワント。彼女に手紙を書いたらたくさんの資料を送ってくれた。教授陣にはミニスカートのテーマは不評だったけれど。

※1 ヴィダル・サスーン (1928-2012)。イギリス生まれのイスラエル人ヘアdresser。(下の写真、左)
※2 デイム: イギリスにおいて上位2等級の受勲者に付けられる敬称。ナイトに相当する女性の地位。

Profile マリー・クワント: (1934-)。イギリス、ケント州に生まれる。ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジでイラストを学び、後に夫らとともに『バザール』を開設。1958年頃から当時は斬新であった丈の短いスカート (ミニスカート) を売り出したところ、大ヒットした。



『マイ・ジェネレーション ロンドンをぶっとばせ!』

マリー・クワントについてさらに知るなら

マリーも活躍した、1960年代のロンドンに焦点を当てたドキュメンタリー。マイケル・ケインをナビゲーターに、ビートルズなどの音楽や、マリー、そして彼女のデザインしたミニスカートが代名詞とも言えるモデル、ツイギーなどが登場。光溢れる60年代当時に体感できる。

2019年1月5日(土)より
Bunkamura ル・シネマほか全国順次ロードショー
配給: 東北新社 STAR CHANNEL MOVIES



Vivienne Westwood



2017-18 年秋冬コレクションのパリ・ファッション・ウィークにて。

イギリスが不況にあえぎ、失業者が溢れる 1970 年代、ヴィヴィアンは当時のパートナー、マルコム・マクラーレンとともに「パンク・ムーブメント」を興す。挑発的なメッセージTシャツ、安全ピンや鋸やチェーンを多用した装飾、攻撃的ヘアメイクなど、ヴィヴィアンが創るパンクスタイルは労働者階級の若者の怒りを反映したスタイルとして、時代の象徴となる。

1980 年代にはマルコムとの関係も解消し、本格的な服作りに励む。女王陛下から 2 度も勲章をもらい、2006 年にデイムの称号を与えられる。90 年代には「今年のデザイナー」賞を 2 度連続受賞した上、2004 年にはヴィクトリア&アルバート美術館で大々的な回顧展も行われた。もはや堂々たる権威なのだが、保守には回らず、言動で世間を挑発し続け、近年は環境保護のための活動などにエネルギーを注ぎ、70 年代から現在まで時代の先頭を走り続けるパンクの女王に一貫しているのは Do It Yourself (自分のやり方で行く) という姿勢と、Destroy & Create (現実に不満があれば破壊して新しいものを創る) という行動力。社会活動家として多忙な現在、洋服ブランドは 25 歳年下の元教え子である 3 人目の夫にほぼ任せているもよう。思わず自分の年から 25 を引いてみた。むなしい皮算用。

Profile ヴィヴィアン・ウエストウッド：(1941-)。イギリスのファッションデザイナー。2 人目の夫、マルコム・マクラーレンとともにパンクロックバンド、セックス・ピストルズをプロデュースし、「パンクの女王」と呼ばれる。後に離婚、ヴィヴィアン・ウエストウッドの名でコレクションを展開。2006 年にデイムの称号を授与された。

ユニセックスの服に込めた思い



Vivienne Westwood: You know, my advice is buy less, choose well, make it last. So, this is a way to double up on that thing because you can buy less. You can just borrow each other's clothes, and, um, so I just love ¹unisex. And it's always very ²theatrical. And if you think about theatrical clothes, they're, can be quite unisex. You know, a ³peasant from ⁴the Middle Ages can look like it's a woman or a man. You know, it's got a long dress on and whatever.

We've borrowed ⁵Prince Charles. We've adopted him for what we want to say, this, ⁶this collection. Prince Charles has done the most wonderful—he's ⁷done more good in the world than anybody I can think of in the last 30 years, since he's been an adult and had a career. And right back in the '70s, you know, he realized that we have to live in harmony with the world, and he started his ⁸organic farming and with this organic farming, he funds all these charities.

ヴィヴィアン・ウエストウッド: 私の助言は、買う量を減らす、吟味する、長持ちさせる、です。ですから、これ(ユニセックスの服)は、買う量を減らすことができますから、そのこと(私の助言)を増やす方法の一つです。お互いの服を借り合うことができるので、私はユニセックスが好きです。それに、それ(ユニセックスの服)は常に劇的でもあります。そもそも演劇風の服のことを考えると、かなりユニセックスなものです。中世の小作人は、女性にも男性にも見せることができますよね。そう、長いドレスをなんかに着ましたから。私たちは、チャールズ皇太子をお借りしました。この、本コレクションで、私たちが主張したいことに、皇太子を採用させていただきました。チャールズ皇太子は最も素晴らしいことを成し遂げてこられて、成人され、職業を持つようになってからの 30 年間、私が思い付く限り、誰よりも世界で善行をしてこられました。そしてはるか 1970 年代には、私たちが世界と調和して生きていかなければいけないことに皇太子はお気付きになり、有機農業を開始し、この有機農業で、さまざまな慈善事業に寄付されているのです。

¹unisex ユニセックス、男女共用 ²theatrical 演劇の、劇風の ³peasant 小作人 ⁴the Middle Ages 中世 ⁵Prince Charles チャールズ皇太子 ★ (1948-)。イギリス皇太子。 ⁶this collection ★

ヴィヴィアン・ウエストウッド・マンの 2015-16 年秋冬コレクションのこと。チャールズ皇太子をアイコンに据えた。 ⁷do good 善行をする、慈善を行う ⁸organic farming 有機農業、有機農法



『ヴィヴィアン・ウエストウッド 最強のエレガンス』

ヴィヴィアン・ウエストウッドについてさらに知るなら

英国カルチャーの第一人者にして、生涯現役を誓うデザイナー、ヴィヴィアン・ウエストウッドのドキュメンタリー。10 代にまでさかのぼり、デザインのことだけでなく、彼女と人生を共にした 3 人のパートナーの話なども赤裸々に語られている。

12 月 28 日(金)より全国公開中
配給：KADOKAWA

